

一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部

「京都市生活安全ビジョン（案）」に意見表明 ～交通事故防止、啓発ツールの活用を提案～

日本損害保険協会近畿支部京都損保会（会長：白髪 憲司・三井住友海上火災保険株式会社 京都支店長）では、2026年1月15日付で京都市から公表された「京都市生活安全ビジョン（案）」に関するパブリックコメントに対し、2月13日に意見表明を行いました。

当支部では、今後も行政や関係機関と協力し、地域の交通安全に資する取組を推進していきます。

【パブリックコメントの概要】

京都市では、京都市生活安全条例に基づき、生活安全施策を総合的かつ計画的に推進するために策定している京都市生活安全基本計画の取組期間が令和7年度までとなっていることから、令和8年度以降の次期計画である「京都市生活安全ビジョン（案）」を策定したもの。

【意見内容の概要】

- 「京都市生活安全ビジョン（案）」11ページ抜粋
 - イ 市民・事業者が主体となった地域における防犯活動の推進
 - 3 交通安全に関する施策の推進〈具体的事業例〉交通安全啓発活動の推進について賛同する。

日本損害保険協会では交通事故防止、啓発に関する様々なコンテンツを以下のとおり提供しているので、上記に関する施策として活用を検討願いたい。

- ・「交通安全に関する啓発ツール」：啓発ツール（チラシ、動画など）を掲載している。
(<https://www.sonpo.or.jp/report/publish/index.html>)
- ・「全国交通事故多発交差点マップ（京都府）」：京都府の交通事故状況や京都府内の事故多発ワースト5の交差点、地元警察の取組みを掲載している。
(<https://www.sonpo.or.jp/about/useful/kousaten/2024/26/index.html>)
- ・「講師派遣」：学生・消費者の皆様に、交通事故防止や、それらを補償する損害保険の仕組みについて理解していただくため、無料で講師の派遣事業を行っている。
(<https://www.sonpo.or.jp/education/others/instructor/>)